

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月28日

【評価実施概要】

事業所番号	4572100644		
法人名	社会福祉法人平成会		
事業所名	グループホームあじさい苑		
所在地	宮崎県東臼杵郡美郷町北郷区宇納間170 (電話) 0982-62-5575		
評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会		
所在地	宮崎県宮崎市原町2番22号		
訪問調査日	平成20年10月15日	評価確定日	平成20年11月28日

【情報提供票より】 (平成20年9月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成16年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤7人, 非常勤0人, 常勤換算7人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		780 円

(4) 利用者の概要(平成20年9月15日現在)

利用者人数	9名	男性 2名	女性 7名
要介護1	0	要介護2	5
要介護3	3	要介護4	1
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 85歳	最低 67歳	最高 95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	美郷町国民健康保険西郷病院、美郷町立北郷診療所
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

北郷区の中心部に位置し、近くには有名な地藏さんもあり、祭りの時にはにぎわいを見せるところである。利用者、職員共に地域の方が多いため、散歩のときなど日常的な声掛けがなされ、地域とのつながりも自然にできている。法人の特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスの施設が同じ敷地内にあるため、行事などで職員との交流もあり、職員の異動などにも配慮されている。何よりも、利用者の穏やかな表情や何げない仕草が自然体として感じられるグループホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	運営者、管理者、職員ともに地域密着型サービスの意義を理解しており、日々のケアを通して地域との交流に意識して取り組んでいる。また、重度化や終末期に向けて、本人や家族の意向を確認し共有していくため、医療機関も交えた連携づくりを計画されている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の目的、意義については全職員が理解しており、全体で話されているが、意見が出にくい状況であった。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は委員の参加率が高く、毎回積極的な討議がなされている。地域密着型として地域住民にホームへの理解を深めてもらうため、ホームからの意見や要望等についても話し合いが持たれ、関係機関を通じた対策についての取組みがなされている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	来訪時など、利用者の近況や健康状態などの報告を行っており、不安や心配事には丁寧な対応を心がけている。家族からの意見や要望を気軽に出示てもらえる雰囲気があり、できる事はすぐに対応し、運営に反映されている。また、苦情相談箱もわかりやすい場所に設置されている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	日々の散歩や近くの店へ買い物に出かける時など、あいさつや会話が気軽に交わされている。地域の行事等にも積極的に参加され、ホームへの理解がすすんでいる。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を十分に理解し、地域の一員としてあたりまえの暮らしが継続できるように、一人ひとりを大切に、との事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の中に含まれている意味を管理者と職員はそれぞれの思いで共有し、日々のケアの中で実践に取り組んでいる姿勢がうかがえる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、毎日の近隣への散歩や地域の行事に参加することにより、地域の人々との交流が育まれている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義や目的は理解されており、自己評価も全員で取り組まれているが、外部評価の結果に対して改善への取り組みに明確さが無い。	○	年1回の評価を、ケアの振り返りや気づきを得る機会ととらえ、職員一人ひとりが、それぞれに自己評価に取り組むことが望まれる。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域柄、3か月ごとに開催されているが、会議内容は充実している。地域との連携がスムーズにできるような話し合いも持たれ、サービスの向上に生かされている。	○	高齢者の多い地域で、日々の交流をより深めるためにも、老人会からの参加を望みたい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	役場が近くにあるため、行き来する機会も多くあり、相談や報告等、情報交換を頻繁に行なっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に1度、利用料支払いで来訪される時に状況報告を行なっている。また写真が満載のホームだよりもとても喜ばれており、来訪の少ない家族には電話での報告もなされている。	○	個々の金銭出納帳もきちんと記録されており、家族には来訪時に見てもらっているとのことだが、さらに確実性を持つためにも確認印をもらうことが望まれる。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱の設置もされているが、来訪時などに、意見や要望等が気軽に言える雰囲気づくりがなされており、運営にも反映されている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人内で異動はあるが、日ごろから利用者との交流の機会を設けたりすることにより、なじみの関係ができていてダメージを最小限に抑える配慮がなされている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回のホーム内で行なわれる自主研修や目標に向けた勉強会等、積極的に行なわれている。また外部研修においても、計画的に職員を派遣しており復命も行なわれている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会での活動を通して他事業所との交流を深め、勉強会など行なうことによりサービスの質の向上に取り組んでいる。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	法人内のショートステイからの利用者が多く、施設を一体化として感じさせる工夫がなされているため、サービスも混乱なく開始できている。またそうでない場合にも利用者宅に出向き、家族を交えて話し合いを持ちながら納得のうえ利用につなげている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に過ごす中で、会話やふとした仕草で利用者の心の穏やかさ、美しさを感じ、職員自身自らを反省する気づきの機会を得ている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話や生活の場面で、利用者の意向を理解するよう努めている。利用者同士の会話にも耳を傾け、思いに気づくような工夫がなされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族に呼びかけはなされているが、参加がなく職員のみでの計画作成となっている。家族からの要望、意見は来訪時に聞くようにしてはいるが、なかなか出してもらえない状況である。	○	より良いケアのため、年に1、2回は家族を交えてのケア会議が設けられるような工夫が望まれる。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的計画見直しも行なわれているが、日々の日誌やモニタリングシートにより個々の状況に応じた見直しが随時なされている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人内の施設との連携が密に行なわれており、緊急時の対応、また外出支援など地域に根ざした支援がなされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	それぞれが希望の掛りつけ医を受診しており、月1回の定期受診は家族対応にてなされている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	最終的な看取りまでの体制はなされていないが、家族との話し合いの中、ホームでできることを最善を尽くして対応されている。今後は、掛りつけ医、家族も交え方針の共有に重点を置いた体制づくりを計画している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	やさしい言葉掛けで利用者に接しており、トイレ誘導もさりげなく行なわれている。記録等の管理もしっかりなされている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	会話の中から意向を把握するように努めており、一人ひとりの希望に沿った支援がなされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜を切るなどできる事は一緒に行なっており、食事もそれぞれのペースで摂取され残菜もほとんどない。しかし、職員は検食を兼ねて1名のみが同じテーブルで食事をしており、他の職員は見守りをしている。	○	利用者と一緒に食事を楽しむことの大切さを前向きに検討されることを期待したい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	午後に入浴時間を設けているが、利用者にとっても、この時間帯がいちばん満足されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	働かせてもらっているという意識で、洗濯物をたたむことを「仕事」とされている方や、日常にお化粧や身だしなみに生きがいを感じている方など、それぞれが喜びを持って生活できるよう支援がなされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は散歩を日課としており、また近くの店へ買い物に出かけたり、一人ひとりの希望に沿った支援がなされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全職員が鍵を掛ける事の弊害を十分理解している。帰宅願望のある利用者の状態により夕方一時鍵を掛ける場合があるが、出はりの自由は確保されている。家族、他の利用者にも了解を得ている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1回、地域の消防団を交えた法人全体の合同訓練を行なっている。ホームでも毎月1回は地震や火事の想定で利用者を交えての訓練を行なっている。マニュアルも大きく書かれ目に付くところに張ってある。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの栄養摂取、水分量、また排便、排尿の状態がわかりやすく記録されており、変化にもすぐに気づき、素早い対応がなされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間には季節の花や作品等が飾られ、また利用者一人ひとりの部屋の入口には、交流で訪れた小学生の書いたそれぞれの似顔絵が掛けられている。ゆったりとくつろげるスペースも設けてあり、異臭や不快な音も感じられず、居心地よく利用者が穏やかに過ごされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や位牌、思い出の写真が飾られていたり、またすっきりシンプルな部屋もあったり、それぞれが安心して過ごせる工夫がなされている。		

※  は、重点項目。